

<ダムウォール工法>

現場の砂防堰堤に採用したダムウォール工法について説明します。

溪流部に計画されているコンクリート砂防堰堤について、ダムウォール工法を採用しています。

1 ダムウォール工法の特長

- ①工場製作する自立型のコンクリートパネルのため安定性と作業性に優れています。
- ②型枠作業がなくなることで、足場組立解体作業も不要となるため安全に作業ができます。
- ③工場製のパネルであるため、堰堤の表面がきれいに仕上がります。



➡ 安全・品質・生産性の向上！

2 作業手順

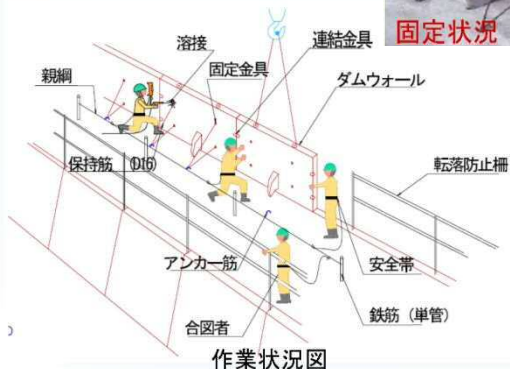
- ①クレーンを使用してコンクリートパネルを計画位置に設置します。
- ②パネル裏面に設置してある鋼製の板に鉄筋を溶接して動かないように固定し、さらに隣接するパネル同士をボルトで連結固定します。
- ③クレーンを使用してパネル内部にコンクリートを打設します。

➡ 単純作業で工期の短縮！



3 安全性の確保

パネルの上部に鉄製の転落防止柵を取付け、作業中の墜落事故を防止する。



恵下埋立地(仮称)建設工事 工事だより

第06号
(2018年11月)



【お問い合わせ先】

施工者：大林・洋林・宮川建設工事JV(発行)
安佐南区沼田町大字阿戸166番地
TEL(082)-830-4007

発注者：広島市環境局施設部
恵下埋立地建設事務所
TEL(082)-923-6011

①防災調整池（擁壁）



防災調整池Hブロックの底板コンクリート打設を終え、続けて壁部のコンクリート打設します。

②-1北バイパス水路



北側バイパス水路の吐口となる階段水路の施工を行いました。

②-2南バイパス水路



クレーンを使用して大型水路の据付作業を行っています。

③盛土工



大型転圧機械を使用して十分転圧しながら盛土を行っています。

<工事進捗状況（平成30年4月～平成30年10月）>

<現況と今後の予定>

現在、防災調整池（掘削・擁壁）、南北バイパス水路、土工、鉛直遮水工、柔構造バリア工、コンクリート砂防堰堤工、汚染土壌の処理などの工事を進めています。今後も濁水の発生、土砂の流出に注意しながら、引続き同様の作業を行い、工事を進めていきます。

第Ⅰ期造成区域



④鉛直遮水工



浸出水の流出を防止する不透水層を構築する岩盤グラウト注入を行うためのカバーコンクリートを打設しました。

⑤柔構造バリア工



北溪流部に堆積した土砂が下流に流出しないよう待ち受け型の土砂止めワイヤーネットの施工を行っています。

⑦土砂流出防止堰堤



土砂流出防止のため、場内河川下流部にコンクリートブロック仮設堰堤を設置しました。

<燃え殻撤去工事終了のお知らせ>

昨年6月から燃え殻撤去工事に着手し、掘削用テントの設置、燃え殻の袋詰め、保管用テントへの運搬作業等を行い、今年の8月に燃え殻の場外搬出を完了後、10月末に完了検査を受け、無事に燃え殻撤去工事を終えることができました。工事期間中は、皆様にご協力いただき感謝しております。本体建設工事は、継続して実施していきますので、引き続き、ご協力お願い申し上げます。

⑥-2砂防堰堤工



南溪流の土石流を防止する堰堤を施工しています。

⑥-1砂防堰堤工



北溪流部の土石流を防止する堰堤を施工しています。